

# 冤罪・仙台北陵クリニック事件 守大助さん面会記

2012年11月 No.51



快晴の日の面会 中元さんと魚住さん

10月19日(金)中元(救・岡山)・魚住(首都圏)・岸田(救・千葉)

きりっとした元気な姿で入ってきた大助さんは、目が輝き、淀みない態度に無実を確信し、一日も早く青空のもとに引き戻さなければと思った。大助さんは、「岡山のみなさんからお便りに元気をもらっています。鑑定試料が全量消費され、再鑑定できなくされているのは許せない。証拠の全面開示を求める運動を強めてほしい。」との真剣なまなざしに、私の心が熱くなりました。

中元さん

本・雑誌・切手・現金・タオルを差し入れました。

**大助さんに年賀状を出しましょう!**

10月24日(水)宮坂・及川(札幌)・長浜(首都圏)

以前はメモ用紙を1枚持ち込みましたが、今回は備え付けのメモ用紙1枚を受け取り、待合室で待ちました。何を話すか悩んでいましたが及川さんは「やあ」と右手をあげてあいさつ。「遠くから来ていただいて」と大助さん。笑顔で対面しました。地元の取り組みや、会の方々の近況を報告しました。

靴の注文方法を教わり、一足作るのに一か月もかかることなど、イキイキと話してくれました。 宮坂さん

## 冤罪・仙台北陵クリニック事件

守大助さん(当時29歳)が勤務していた医療法人北陵クリニック(当時)に於いて、患者さん5人の点滴に筋弛緩剤を混入したとして2001年に逮捕。仙台地裁・高裁・最高裁で無期懲役が確定(2008年2月)。同年7月から千葉刑務所に収監されています。

守大助さんには動機がなく、患者さんの容体急変は「筋弛緩剤」の薬理効果と矛盾しており、科学鑑定でも否定されています。試料は鑑定時に「全量消費」されており、再鑑定ができません。

守大助さんは2012年2月、仙台地裁に再審申し立てを行い、無実を訴えています。

10月1日(月) ご両親

前日、横須賀での救援会支部大会に参加しました。台風接近のため、面会せず帰宅をも考えましたが、千葉に宿泊して台風をやり過ごしました。翌日は台風一過の快晴で、気持ち良く面会できました。

大助はとても元気で、三者協議への期待が表情から読み取れました。

前日の集会で神奈川県本部の根岸会長が大助の手紙を紹介し、「守会結成の訴えがあります。ぜひ叶えてください」とお願いしていたことを話すととても喜んでいました。

面会について大助が提出する書類の記載が細くなったことから、面会が厳しくなるのではと懸念しています。 お父さん

☆11月の面会日：9日宮城・14日秋田・22日両親

☆12月の面会：7日一羊会・25日両親

◆面会申し込み先／救援会神奈川県本部：Tel050-3310-1368 Fax045-663-7953

E-mail [kyuenkai-k2@clock.ocn.ne.jp](mailto:kyuenkai-k2@clock.ocn.ne.jp)

◆発行／救援会千葉県本部：Tel043-251-7351 Fax043-251-4159

E-mail [kyuen-chiba@kc4.so-net.ne.jp](mailto:kyuen-chiba@kc4.so-net.ne.jp)

激励先 〒264-8585 千葉市若葉区貝塚町192 守大助さん宛